

# 最新の医療技術をいち早く 先進医療とは

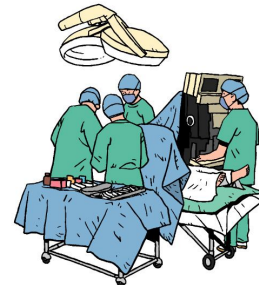
健康エクスプレス No. 3 5

日本の医療は健康保険により公平性が保たれていますが、最新の医療技術の治療が受けにくいと言われていました。しかし、現在では先進医療という制度により、限定的ですが最新の医療技術を享受できるようになっています。今回はこの先進医療がテーマです。

## 最新の医療と健康保険

### (1) 新しい医療技術と自由診療

医療技術は日々進歩しています。新しい医療技術が出現し患者の医療に対するニーズは多様化しています。広く普及することが見込めない為などの理由で健康保険の対象とすることが見送られている新しい治療法は数多くあり、これらは自由診療として全額自己負担になります。医療技術の研究が進歩しているがんの最新治療や美容整形、不妊治療における体外受精なども自由診療になります。保険診療と自由診療を併せて行うことは原則禁止されています。



### (2) 高度先進医療の誕生から先進医療へ

昭和 59 年に、先進的な医療技術と保険診療の調整を図る制度として、高度先進医療の制度が生まれました。これは、保険診療をベースとして、別に特別な料金を負担することにより、先端的な医療を受けられるようにしたものです。高度先進医療とそれを行う病院は国が認定しています。高度先進医療の種類や取り扱い病院は、ともに増加を続けており、平成 18 年 8 月時点で、それぞれ 101 種類、114 病院でした。代表的なものとして、近年、がんの治療法として注目されている粒子線治療や免疫療法の一部などがあります。また、高度先進医療に準じた先進医療と呼ばれるものも別にもありました。

#### 【先進医療の例】

がん	粒子線治療/重粒子線治療
	自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法
	カフェイン併用化学療法(骨肉腫)
椎間板ヘルニア	経皮的レーザー椎間板切除術
歯周病	歯周組織再生誘導法

いずれも、受けることができる病院は定められています。

高度先進医療と先進医療は今年 10 月より統合され、先進医療の名称に一本化されることとなりました。また、これらや国内未承認薬を使用した治療については評価療養と呼ばれます。ここでいう評価とは、「将来的な保険導入のための評価を行うもの」としての意味合いがあります。

## 健康保険の対象外である先進医療 患者の治療費は・・・

### (1) 先進医療費の実際

先進医療は新しく、かつその多くが高度な技術を要するため、費用は一般的な治療法に比べて高額となる場合が多く、また、健康保険の対象外であるため、患者負担額が非常に大きくなる場合があります。たとえば、静岡がんセンターで粒子線治療(陽子線治療)を受けた場合には、240 万円(基本料)がかかります。なお、先進医療を行った際に、同時に行った健康保険相当の治療については健康保険が適用されます。その点で全額自己負担となる自由診療と異なった扱いとなっています。

私たちが注意すべき点として、先進医療の費用は、一定の限度額を超過した場合還付される高額療養費が適用されないことです。

### (2) 他の全額自己負担となる医療費は

上記の先進医療以外にも、健康保険対象外のため全額が患者の自己負担となる費用があります。よく耳にする差額ベッド代がその代表です。その他には、予約診療の費用、時間外の診療費用なども該当します。これらを総称して選定療養と呼びます。近年、患者が全額自己負担することで、受けられる特別な治療およびサービスが増えてきています。



《皆様の安心と安全のプレイントラスト(専門顧問グループ)》

株式会社ヤシロエージェンシーリミテッド 担当：八城一浩

〒107-0052 東京都港区赤坂 3-1-2 A U 赤坂ビル 4F TEL 03-3582-4511